

平成20年度

# 学校外部評価表

県立北部農林高等学校

# 平成20年度学校外部評価表

## ① 学校運営

評価項目	運営方針		年度末評価（3月）
	目標	具体的方策	
教育計画 1) 学校運営 2) 学校行事 3) 授業時数確保 4) 教育課程 5) 諸表簿の管理 6) 研修	1) スムーズな学校運営を図る。 2) 円滑な学校行事の運営に努める。 3) 授業時数の確保に努める。 4) 教育課程に関する研修を深める。総合的な学習、選択科目の設置に関する研究及び調整に努める。 5) 関係諸表簿の記入及び期限内提出の徹底を図る。 6) 校内研修の活発化に努める。	1) 各部、各委員会、各係との連携を密にし、スムーズな学校運営をはかる。 2) 各係と早期に連絡調整を図り、円滑な実施に努める。 3) 行事等との調整を図る。 4) 教育課程委員会を積極的にすすめる。 5) 学習方法研究及び学習環境の整備等に努める。 6) 諸表簿の記入方法についての説明会を行い、期限内に正確な記入が行えるようにする。	A A A A A A
・情報・連携	1) 教育情報の管理  2) 家庭・地域社会との連携	1) 学校は、開かれた学校づくりを推進するために、家庭や地域社会等の意見や要望を取り入れてる。  学校は、家庭や地域社会の意見や要望を取り入れて教育活動の充実に意欲的に取り組む。  2) 学校は、家庭や地域社会の意見や要望を取り入れ情報交換に意欲的に取り組んでいるか。  学校は、家庭や地域社会との理解や協力関係を深めるための連携方法に工夫していますか。	B  B

評価項目	学校運営計画		年度末評価（3月）
	目標	具体的方策	
施設・設備	1) 教育目標を達成するために施設・設備が充実、又は活用を図る。 教育環境の整備・充実	1) 育目標を達成するための施設・設備は確保されているか。 施設設備の点検は定期的になされ、安全は確保されているか。 校内道路、排水溝が整備されているか。 駐車場が十分に確保されているか。 日常の教室清掃等が徹底されているか。  農場（実験実習室含む）が適切に運営されているか。  施設・設備は地域へ開放されているか。	A
生涯学習	1) 潤いと生きがいのある生涯学習社会を目指して、学校として取り組める体制づくりを図る。	1) 「いつでも、どこでも」学習できる環境基盤が確立されているか。  生涯学習関係機関・団体との連携がなされているか。 学校から地域・保護者へ学習機会の提供がなされているか。  生涯学習を確保するために学校開放がなされているか。	A

② 総合的な学習の時間

評価項目	学校運営計画		年度末評価（3月）
	目標	具体的方策	
総合的な学習の時間	1) 自ら課題を見つけ自分の方法で追し、表現できる。	1) 創設された背景や趣旨、ねらいが活かされているか。  自ら課題を見つけ、課題解決に努力できたか。  課題を解決する課程や結果を通して自分との関わりや生き方を考えることができたか。	B

③ 特別活動

評価項目	学校運営計画		年度末評価（3月）
	目標	具体的方策	
・生徒会	1) 生徒会・各種委員会の目標達成	1) HR役員、生徒会役員研修会を充実させ、リーダーの資質向上に努める。  生徒会執行部を定例化する。  生徒会執行部とHR長会、各種委員会との連携を強化する。	A
	2) 学校行事・生徒会行事への積極的取り組み	2) 各行事への早期の取り組み。  各行事を生徒全体で取り組む。  広報活動を活発化する。	A
	3) 部活動・同好会活動の活発化	3) 全生徒へ参加を呼びかけ、各部・同好会活動を奨励する。  設備・備品の整備と充実化を図る。  部室の設置に向けての取り組み	A
・HR	1) LHR計画的運用	1) LHRを計画的に運用する。  各LHRにおける参考資料を収集し、提供する。	A

④ 生徒指導

評価項目	学校運営計画		年度末評価（3月）
	目標	具体的方策	
1) 基本的な生活習慣の確立	1) ①遅刻・無届欠課・無届欠席の指導強化を図る ②飲酒・喫煙等の問題行動指導の強化  ③服装容儀指導の強化 ④アルバイト指導の強化 ⑤全校集会時の指導徹底	1) ①遅刻防止週間を設け遅刻防止を図る  ②健康週間・喫煙講話を設け・タバコや飲酒の害について考える。月毎の校内外巡視週間を設置し指導を強化する。  ③服装容儀（身なり）指導月間を設ける。  ④アルバイトへの就業状況を把握し、保護者より届を提出する。 ⑤集会における動作の機敏と聞く態度の養成。	A
2) 交通安全の徹底	2) 交通安全の意識を高め、交通規則を守り、事故防止に努める。	2) ①月毎の車両チェックを行う。  ②長期休業前に運転免許所持者への指導を行う。  ③交通安全教室・交通安全講話の実施を実施する。  ④交通安全便りの発行・週末の交通安全を全生徒に呼びかける。	A
3) 集団生活のマナーを守る	3)①けじめある校内食堂利用の指導  ②携帯電話、ポケットベル、PHS等の利用マナーを守る	3)①けじめある校内食堂利用を生徒指導部便り等で注意を呼びかける。全職員でのその場指導を行う。  ②一時預かり指導の周知徹底。	A
4) 担任・学科との連携を強化す	4) 拡大生徒指導委員会を設ける	4) 担任・学科長・教頭を含めたメンバーで拡大生徒指導委員会を設けて、問題行動を起こした生徒について情報を交換し、指導を行う。	A

⑤ 進路指導

評価項目	学校運営計画		年度末評価（3月）
	目標	具体的方策	
進路指導	1) 計画的・継続的な進路指導の確立。	1) 進路調査による生徒の実態の把握。 各学科、学年に積極的な資料提供を行い進路指導の充実を図る。 学年進路目標を設定し、入学から卒業までの一貫した計画的・継続的な進路指導を行う。 農場部や各教科と連携して各種の資格取得等の受検意識を高める。	A
	2) 充実した進路情報の提供。	2) 積極的な資料収集と資料の整理活用。 進路だよりの発行。 「進路の手引き」の発行と活用。 就職情報システムの活用。 進路説明会、進路講演会の実施。 専門学校や大学キャンパス巡りの実施。 進路系の活動を活発化する。	A
	3) 基礎学力の向上を図る。	3) 課外講座充実のための学科・教科との連携を図る。 模擬試験等への積極的な挑戦をさせる。	A
	4) 連携強化による指導の充実	4) 学級担任との連携。 学科職員との連携。 教科担任との連携。	A
	5) 進路相談の充実。	5) 個人面談の実施。	A
	6) 就職指導の充実	6) 職場実習の活用。 職場開拓と追指導の実施。	A

⑥ 健康・安全指導

評価項目	学校運営計画		年度末評価（3月）
	目標	具体的方策	
1)健康診断	1) 定期健康診断を円滑に実施する	1) 各健診の受診漏れがないように、担任等と連携し受診指導を行う。	B
2)健康相談	2) 健康相談の充実	2) 健康診断の結果等から必要な生徒へ担任・保護者等と連携をとり効果的な健康相談を実施する。	B
3)健康教育	3) 保健教育・保健指導の実施	3) ①世界禁煙デーへ向けての取り組み ②世界エイズデーへ向けての統一LHR ③薬物乱用防止教室の開催	A
4)組織活動	4) 組織活動の活発化	4) ① 生徒保健委員会 ・定期健康診断への協力 ・学校保健に関する活動への参加 ②学校保健委員会の開催	A
5)環境衛生	5) 学校環境衛生管理に努める	5) ①学校薬剤師による飲料水・プール水の水質検査の実施 ②学校薬剤師による教室の照度測定の実施	A

⑦ 家庭・地域社会との連携

評価項目	学校運営計画		年度末評価（3月）
	目標	具体的方策	
1)家庭・地域社会との連携	1)家庭・地域社会との連携強化を図ることにより、ゆとりのなかで特色ある教育を展開し子ども一人一人の生きる力をはぐくむ。	<p>1) 生徒の進路、生活指導の充実を図るため学校と家庭との連携を図られている。</p> <p>学校週5日制の趣旨を生かすための連携が図られている。</p> <p>地域（地域、同窓等）の連携を図られている。</p> <p>地域の小・中・高等学校との連携が図られている。</p> <p>P T A活動が活発である。</p> <p>学校教育に地域の人材が活用されている。</p> <p>学校は地域社会の行事に積極的に参加している。</p> <p>保護者・地域住民は学校に協力的である。</p>	B